

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	鈴鹿市第2療育センター		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2024年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様同室での通園のため、お子様だけでなく保護者様の悩み事や困り感に対応しやすいことが強みであると考えています。	・クラスの全体説明だけでなく、当日の担当職員が療育のことやご家庭のこと、園や学校でのことなど伺うようにしています。また保護者様の同意を得たうえで必要に応じて関係機関と連携を取るようにしています。	・お子様や保護者様により丁寧に、よりわかりやすい関わり、ご案内等を各職員が心がけてまいります。活動中だけでなく、活動の前後やそれ以外の時間を利用して支援の充実を図ってまいります。
2	・様々な専門職員を配置しております。各職種の視点から、お子様と保護者様に必要なスキルや情報等を提供させていただいております。	・集団療育に個別に対応する訓練士を配置することで、集団だからできること、個別に活かせること、個別から集団活動に活かせることを提供しています。	・地域の集団生活でより良い生活を送っていただくために、集団療育と個別活動を提供してまいります。お子様の状況などを保護者様とお話しながら提供方法を一緒に考えさせていただきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様同士の交流の場が少ないことが今後の課題の一つであると認識しております。	・保護者様向けの研修会や交流会の開催をコロナ以降は行っておらず、開催のタイミングを逃してしまっているのが現状です。	・大規模でなくとも保護者様同士が交流できる機会を設けていくことが望ましいと考えております。保護者様と一緒に通園していただいているので、安心してご利用いただけるような提案・提供に努めてまいります。
2	・保護者様への支援プログラムや相談の充実をより行っていきたく思っております。	・より多くの方が一緒に行えるよう今年度は第1療育センターのみでペアレントトレーニングを行いました。少人数でも行えるプログラムや相談を充実させて行く必要があると考えています。	・ペアレントトレーニングだけでなくお話しなどご家族等がご参加いただけるようなプログラムを提案できるように職員の知識・技術向上に努めてまいります。少しでも多くの方にご参加いただけるような提案ができるように努めてまいります。
3	・保護者様に情報が十分にお伝えできていないことがあるので、より丁寧にお伝えしていきます。	・療育センターで行われる療育内容や各種マニュアル等は掲示やきずなネットなどで配信させていただいておりますが、不十分に感じられることがあるとアンケート結果から認識しております。	・掲示やきずなネット、SNSで配信させていただくことは継続し、それ以外にもクラス活動や受付などでもお伝えするよう努めてまいります。